

令和元年度 第3回小牧市地域協議会推進市民会議 会議録

1 開催日時 令和元年10月16日(水)

午前10時～正午

開催場所 小牧市役所 本庁舎4階 402会議室

2 出席者

(1) 推進市民会議委員 17名

(欠席：小柳委員、山田委員、宮嶋委員)

(2) 事務局 入江地域協働担当次長兼主幹、長縄課長、松浦係長
岡田係長、長屋

(3) 傍聴者 1名

3 会議資料

- ・グループ分け一覧表
- ・小牧市地域協議会推進市民会議 配席表
- ・資料1 地域協議会制度方針 変更箇所概要
- ・資料2 地域協議会制度方針 修正(案)

4 会議内容

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会の状況報告
 - ・小牧小学校区の進捗状況について
 - ・北里小学校区の進捗状況について
 - ・小牧市地域協議会に関する条例について
- 3 地域協議会制度方針の見直しについて
- 4 その他(次回以降の会議予定)

【事務局】

それでは、定刻になりましたので、始めさせていただきます。本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただいまより、第3回小牧市地域協議会推進市民会議を開催します。

会に先立ちまして、皆様に市民憲章の唱和をお願いいたします。恐れ入りますが、ご起立をお願いします。

お手元の次第の裏面をご覧くださいまして、私が先導させていただきますので、後についてご唱和をお願いします。

〔小牧市民憲章 唱和〕

【事務局】

ありがとうございました。ご着席ください。

本日の予定につきましては、お手元の会議の次第のとおりでございます。

あと、本日欠席の委員につきましては、小柳委員、山田委員、宮嶋委員の3名です。

それでは、次第1の会長挨拶として、加藤会長からご挨拶をいただきたいと思っております。

【加藤会長】

改めまして、おはようございます。

今日は、議題が地域協議会制度方針の見直しということで、これまで何度も全員で話し合ってきた内容を反映した資料が、事前に郵送されたと思います。今日はグループワークでそれをブラッシュアップするというところで細かいところまで話し合いができればと思っています。よろしく願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

それでは、以後の司会進行は会長にお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【加藤会長】

では、まず会議を始めます前に、この会議は小牧市地域協議会推進市民

会議設置要綱第5条第3項に基づいて会議を公開することとなっています。

今日は傍聴の方が1名ということで、報告いたします。

では、次第の2をご覧ください。

地域協議会の状況報告について、事務局より説明をお願いします。

〔事務局 説明〕

【加藤会長】

ありがとうございました。

それでは、今日は議題3 地域協議会制度方針の見直しについて説明をしていただきます。この後、グループに分かれて話し合いをお願いすることになります。

それでは、事務局からお願いします。

〔事務局 説明〕

【加藤会長】

ありがとうございました。

それでは、制度方針の見直しで評価できることはブルーのふせん、改めて事務局に確認したいことはピンクのふせんに、該当するページ数と内容を書いていただきたいと思います。

それでは今から10分間、個人でブルーとピンクのふせんに書く作業をお願いします。

〔個人作業〕

【加藤会長】

それでは、ブルーとピンクを分けて貼っていくことになりますが、今日は真ん中にB紙があります。縦使いで、大体半分になるところで折っていただき、左側にブルーのふせんに書いた評価できるところ、右側にピンクのふせんに書いた改めて確認したいところを上からページ順になるように並べてください。貼るときは読み上げながら貼ってください。

それでは、今から20分間でブルーとピンクのふせんの内容をグループ内で共有したいと思います。よろしくをお願いします。

〔グループワーク〕

【加藤会長】

それでは、一旦ここで切ります。これから、ピンクのふせんに書いてある意見の中から2つ選んで、星をつけていただく作業をお願いします。この2つを重点的に事務局に確認することとします。3分ぐらいで作業をお願いします。

[グループワーク]

【加藤会長】

それでは、各グループで発表をお願いしたいと思います。ブルーのふせん、ピンクのふせん、さらにその中で2点改めて確認したいところを説明していただき、共有したいと思います。

それでは、Cグループからお願いします。

【秦野委員】

それでは、Cグループの発表をさせていただきます。

まずは、評価できるところから申し上げます。

1 ページ目の地域の絆力のことについて取り上げたのは非常にいい追記の仕方だったと思います。

4 ページ目で、こういうふうにしなればいけないというのが今まで多かったと思いますが、こんな参加のあり方がありますという柔軟な運用ができる旨の表記にされたのは非常にいいことかと思いました。

あと6 ページ目、地域の強みとか弱みという言葉が入ったのは非常にいいなと。地域によってやはり課題が結構違うと思いますので、自分の地域をよく知るということで、非常にその言葉もやわらかくていいなという意見がありました。

同じ6 ページ目に、必要に応じて事業をやりましようと言葉があったのは非常にいいと思います。何か無理してやるみたいなイメージができるといけないので、そこはよかったと思います。

8 ページ目に、原則として1名以上という、その言葉が以前と比べると言葉はすごくやわらかくなって、とても参加しやすい表現になったという意見がありました。

11 ページ目の年次報告のところで、総会資料を添付しても差し支えないという表現もやりやすい形の表記になったと思います。

13ページ目は、活動段階が明確となり、とてもわかりやすくなったと思います。階段状に段階を上げていくことで交付金の上限額が上がるというのもわかりやすい表現でいいという意見がありました。

あと17ページ、地域パートナー支援が設立準備委員会からできるということで、立ち上がりがなかなか困難なところにこういった支援が明記されているのは非常にいいという話になりました。

【加藤会長】

ありがとうございます。それでは、改めて確認したいところについて発表をお願いします。

【秦野委員】

まず2ページ目で、今後、規制緩和でどんどん増えてくると思われる外国人の課題が一言も入っていないので、入れていただけるといいと思います。私の地域では、外国人の多い地区にありながら、なかなか防災訓練などに外国人はほとんど来ていないような話だったので、この辺を設立する背景にも加えるといいと思いました。

7ページ目の市の協力関係について、もう少し強調してもいいという意見もありました。

また、どうしても自治会に入らない人が多くなり、加入率はどんどん低下しています。それと同時に、地域協議会の事業の参加者が一定の人に固定されてしまうのが問題だと思うので、もう少しこれをどのように広めるかというのは、一つ課題として持っておいた方がいいと感じています。

あと、既に立ち上がっているサロンと地域協議会の関係性のあり方について具体的に明記できるといいのではないかという話になりました。

最後に、事務員人件費について、負担を分散させるために1人で回すということではなく2人以上の複数名でやるということも視野に入れてもいいかと思います。また、人件費については税金の問題が出てくると思うので、他の地域で行っている事例を入れるといいと思います。私たちのグループは以上です。

【加藤会長】

Cグループの皆様、ありがとうございました。それでは、続いてAグル

ープの方、お願いします。

【大杉委員】

Aグループの発表を始めます。

評価できるところに関しては、1ページ目の絆力の読み仮名と脚注が入ったことはいいと思います。

次に、4ページ目の区と学区の境界が一致していないところの柔軟な運用、6ページ目の「なお」以降の記載については既存事業との融和が図りやすいということの意見がありました。

また質問事項については、いくつか挙がりましたので共有します。

まずは、1ページ目の真ん中の3項目の「地域の教育力」とありますが、あまり使わない言葉だと思いました。したがって、地域の支援活動とか、そういうような言葉に変えてもいいかと思いました。

次に、2ページ目の設立の目的のところ、下から4行目「本市に活力のある今のうちから」とありますが、このままだとどんだん力がなくなっていくように見えるので、文章を考えていただいたほうがいいかと思いました。

それから7ページ目の「生活に密接した」というところですが、「生活に密着」の方が自然ではないかという意見が出ました。

今度は、文面を加えるということで、1ページ目のところの災害を紹介するところに、今年あった台風19号の被害も加えていただくとよいと思います。

それから「支え合う、助け合う」という言葉が随所に出てきますが、プラスで「寄り添う」という言葉を、入れてもいいかと思いました。

また、13ページ目の「その他の地域の課題」が抽象的でよくわからないということがあります。その地域の課題を地域協議会の課題解決事業にあたるのかどうかを地域協議会で判断できるのかどうか分からないと思いました。

最後に、18ページ目、こまき支え合いいきいきポイント制度の詳細は、地域がやるべき具体的な活動であって、方針に乗っけるべきものではないだろうという意見が挙がりました。

特に聞きたいことは、1つは今回の豪雨のところを入れてくださいということと2つ目はポイント制度の記載について、ぜひ考えてください。

【加藤会長】

Aグループの発表ありがとうございました。続いて、Bグループ発表をお願いします。

【深堀委員】

まず、評価できるところですが、表紙の裏に経緯が記載されています。この内容はだれが見てもわかりやすいという意見が出ました。

1ページ目、絆力の読み仮名と脚注、4ページ目の区と学区との関係性について記載したことはいいと思います。

同じく4ページ目ですが、協議会の設立の中で小学校区単位というのが明確でいいということ、5ページ目は地域協議会のイメージが各種団体を巻き込む形でわかりやすい。

それから7ページ目ですけれども、協議会と区・市の関係性について、図式化でわかりやすくなったという意見も出ました。

9ページ目に条例を1番目に入れてくれたのがいいということ、13ページ目の活動段階の図とイラストはわかりやすいという意見が出ました。また、地域パートナーが準備段階から参画できるようにしているのは非常にいいです。

改めて確認したいところですが、まず1ページ目の災害名のところで、東海地震、東南海地震とありますが、今は南海トラフで統一されているから、こっちにしたほうがいいかと思います。

2ページ目ですが、少子高齢化と人口減少の進行ということで、内容はいいですけれども、実は数字が羅列されていて見にくいのでグラフ化したらどうだという意見が出ました。

4ページ目のメリットのところですか。小学校区についてですけれども、小学校は避難所に指定されているので避難所運営の場所であるというものをつけ加えたらいいと思いました。

あと、それから6ページ目、地域づくり事業の企画・実施のところ、企画して実施するだけでなく、「報告」や「公開」を入れればいいのかと思いました。要は地域住民に公開することによって地域協議会の活動というのを周知するという必要だと思います。

7ページ目は、地域協議会と市の関係性ですけれども、小学校区によっ

ては区との関わり方が難しくなるところがあるので、この辺をどう表現するといいかという意見が出ました。

それから8ページ目、「原則1名」というのをやめて、表現を「選出する」という形でもいいんじゃないかということですね。

9ページには、規約については各協議会でバラバラのものを策定するよりも、第1章、第2章、第3章など統一する形でのベースラインを決めておくといよいと思いました。それから通称名を設けることでわかりますが、今の小学校区協議会という名前の変更はできるのかという疑問も挙がりました。

3ページ目ですが、イメージ図の文字が非常にかたいと思います。

あとは、いきいきポイント制度の説明の中で文字だけの表現になっているので、イラストなど加えたほうがわかりやすいんじゃないかという意見が出ました。

それで、私どもでお願いしたいのは、この2ページ目の話と6ページ目の話です。2ページ目はグラフにしてほしい。6ページは、さっき言ったように「報告」又は「公開」を追加してはどうかということです。以上です。

【加藤会長】

Bグループありがとうございました。

それでは最後、Dグループお願いします。

【坂下委員】

D班です。よろしくお願いします。

まずは評価できるところですが、背景の経緯が入れられたことはいいと思いました。それから2ページから3ページにわたって地域協議会の役割、それから設立をきめ細かく書かれているところもいいところだと思います。

3ページのところで相互補完という言葉が使われていて、お互いにウイン・ウインの関係の表現がいいと思われます。

4ページは2つございまして、1つは、区がまたがっている場合、どちらの協議会に入ることが弾力的に書かれているということと、3世代にわたってという意識が記載されているところはいいという意見が出ま

した。

6ページにつきましては、防災訓練だけでなく、挨拶運動をすることで声をかけてもらい、地域と子供との距離が近くなることはいいところかと思われます。

続いて、改めて確認したいことの説明をします。少子高齢化と人口減少のところ、グラフ化すること、さらには未来予測についても追加してもいいと思いました。

3ページと4ページについて、小学校単位に加えて、中学校はどのように関わってくるのか、あるいは企業の地域参画もどう受けとめていくかといった部分が少し弱いのではという意見が出ました。

あと6ページの下段に地域協議会の活動に実際に参加した人の声を入れることで、自分事として受け入れやすいんじゃないかなと感じました。

7ページ目で図がありますが、区と地域協議会との関係はちょっと言葉が少ないということもあるし、固定化されないようにもう少し考えていく必要があるんじゃないかなと思われます。

最後は、17ページに事務員の身分や保険の関係などの問題があるので、そのあたりは柔軟にお考えいただけるとありがたいと思います。

その中で特に確認したいことは、中学生や企業の参画をどのように考えるかということと、地域の困りごとの吸い上げ方や地域協議会の関わり方についての2点としたいと思います。

以上でDグループの発表を終わります。

【加藤会長】

それでは、各グループから2つずつ改めて確認したいところを挙げていただきました。これからは事務局の方にそれらに対する見解をお伺いしたいと思います。

【事務局】

それでは、発表の順番からあったCグループの意見から説明したいと思います。

1点目の外国人に関する課題ということで、小牧市は愛知県の中でもトップクラスの外国人の多さであり、防災、福祉、ごみ問題など様々な分野で外国人に関する課題はあります。地域協議会でどんなことができるかと

というのはありますし、こういった形で入れられるのかわかりませんが、現状を踏まえ検討したいと思います。

2点目の事務員人件費については、実際に篠岡と味岡でおたすけ隊を発足するにあたって事務員に事務を委託しておりますので、具体的な事例として載せるかどうかを含め、検討したいと思います。

続きまして、Aグループです。1点目のポイント制度の記述に関しましては、ご意見のとおり実際の活動事例や写真を載せて、内容をスリム化させる形で記載を調整したいと思います。

2点目の豪雨災害に関する記載については、追加する形で修正をしたいと思います。

続いてBグループですが、1点目の少子高齢化と人口減少のところ、グラフを入れた方がわかりやすいというご意見については、いろいろな計画で使われているグラフで、何か使えるものがあれば、入れてわかりやすく表記する修正を行うこととしたいと思います。

2点目の地域づくり事業の企画・実施のところ、実際にフィードバックというような形で報告や公開は、必要な手続きだと思いますので、修正する方向で検討したいに思います。

次に、Dグループです。1点目は、中学生や企業の参加というところですが、ご意見のとおり中学生や企業は、地域協議会の一員として活躍してほしいという思いはあります。篠岡小学校区ではSクルーといった形で実際にボランティアをやらせていたりしますので、その辺りも踏まえながら中学生や企業については入れていきたいと思います。

2点目の地域の困りごとをいかに協議会が吸い上げていくかについては、地域協議会と区と市の関係性のところに追記するような形ができるかどうかこちらで検討したいと思います。

【加藤会長】

ありがとうございました。他に何かご意見はありますか。

【鳥居委員】

中学生の関わりについての意見がありましたが、高校生もいろいろところで活躍できると思うので、高校生の関わりについても入れていただけるといいかと思います。

【加藤会長】

他はよろしいですか。

よくある会議だけやって意見をもらって終わりという形ではなく、こういったグループワークでたくさんの意見を出し合って、それに事務局が一つ一つ丁寧に答えるという形は非常にいい形だと思いました。今回意見をいただいた制度方針についても、皆様の意見を踏まえたいい内容になると思います。

それでは、事務局に司会をお返しします。

グループのお互いのメンバーに、拍手をお願いします。

〔拍 手〕

【事務局】

加藤会長、議事進行ありがとうございました。

最後になりますが、地域協働担当次長兼協働推進課主幹の入江からあいさつをいたします。

【事務局】

本日は長時間に亘りまして、様々なご意見をいただきましてありがとうございました。

今年度3回目の会議ということで、今回は地域協議会制度方針の見直しについてグループワークでご意見をいただき、その意見に基づき必要な修正を行ってまいります。また、会議の冒頭でもありましたように、今月末には小牧小学校区地域協議会が設立されます。今年度中には北里小学校区においても地域協議会の設立を目指していきたいと思っておりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

次回の会議は、来年2月を予定しておりまして日程については後日連絡いたします。皆様にはその折りにも活発なご意見をいただきたくと思ひますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思ひます。

本日はどうもありがとうございました。

【事務局】

本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

以上で全て終了とさせていただきます。皆様お気をつけてお帰りください。